

JR連合結成25年 政策課題と組織課題のさらなる前進を図り、これからも安全で信頼されるJRを築こう!



JR連合

JAPAN RAILWAY TRADE UNIONS CONFEDERATION

http://www.jr-rengo.jp

日本鉄道労働組合連合会
 〒103-0022 東京都中央区日本橋室町1-8-10 東興ビル9階
 TEL (NTT) 03-3270-4590 (JR) 057-7848
 FAX (NTT) 03-3270-4429 (JR) 057-7849
 1部20円 (但し組合費に含む)
 ●発行者 松岡裕次 ●編集者 中村鉄平

facebook
JR連合

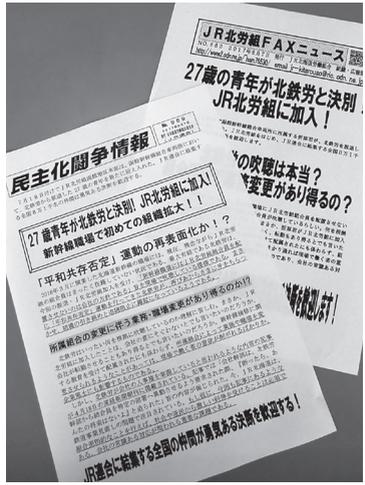
twitter
JR連合

27歳青年がJR北労組に加入! 新幹線職場で初めての組織拡大

J R 北労組は、7月18日付で函館地区本部の函館新幹線総合車両所において、J R 総連傘下の J R 北海道労組 (北鉄労) を脱退した27歳の青年を新たに迎え入れた。

今回の北鉄労脱退・J R 北労組への加入を受け、「平和共存否定」運動を行ってきた北鉄労は、『新幹線職場には J R 北労組組合員を配置させないのは会社の方針』などと再びあからさまに本性をちらつかせ、組織の引き締めと追従阻止に躍起になっているようだ。

J R 連合は、青年の加入を全国の仲間と歓迎するとともに、J R 総連・北鉄労の実態を明らかにし、更なる加入に向け、支援を強化していく。



組織拡大を伝える「JR北労組FAXニュース」と「民主化闘争情報」



第1回政策委員会 (8月1日)



第1回賃金対策委員会 (8月4日)

鉄道軌道整備法の適用要件緩和を

8月1日、第1回政策委員会を開催し、この間の政策課題への取り組み経過を報告するとともに、今年度の活動方針について、確認した。とりわけ、2018税制改正については、軽油引取税にかかる免税措置の延長など、昨年に引き続き重要な事項があることから、

今後の対応を再議論された。また、九州北部豪雨による久大本線・日田彦山線の被災をはじめ、近年の自然災害の甚大化といった状況に鑑みた災害復旧や設備強化にかかる補助の必要性についても提起された。災害復旧補助制度については、現行の鉄道軌道整備法による制度があるものの、全事業損益が継続的な赤字であることなどが適用要件となっており、J R 連合は従前から

方針の実践に向け、具体的な活動がスタート 政策課題解決、新・中期労働政策ビジョン策定を進める

8月4日、第1回賃金対策委員会を開催した。協約改訂交渉や2018春季生活闘争に向けた議論を展開するとともに、今後のス

実施に向けて調整を進めている。

また、現行の中期労働政策ビジョンが2018年までのものであることから、2年後の新・中期労働政策ビジョン策定に向けて、同委員会メンバーを基本とした新P.Tの概要が提起された。今後、賃金対策委員会の開催と併設する形で、本P.Tの会合を開催し、新ビジョンの策定作業

2018春闘に向けた議論を展開

8月19日、J R 連合会議室で第43回単組女性代表者会議を開催した。今回は連合男女平等局が担当者を招き、意見交換会を実施した。

冒頭、各単組代表者からは育児等にかかる制度等の問題や、会社施設内の女性用設備の問題など課題提起があり、連合からは最近の政府等の議論や関連する諸制度、他業種の事例などを補足していただきつつ、活発な議論が行われた。

第43回単組女性代表者会議 連合男女平等局と 男女ともに働き続けるための 意見交換を実施

8月19日、J R 連合会議室で第43回単組女性代表者会議を開催した。今回は連合男女平等局が担当者を招き、意見交換会を実施した。

冒頭、各単組代表者からは育児等にかかる制度等の問題や、会社施設内の女性用設備の問題など課題提起があり、連合からは最近の政府等の議論や関連する諸制度、他業種の事例などを補足していただきつつ、活発な議論が行われた。



直面する身近な課題を討論した単組女性代表者会議

J R 西日本グループ労働組合連合会 (J R 西日本連合) は、7月28日、大阪市内で結成25年の節目となる第26回定期大会を開催し、加盟全単組が一丸となつて組織の魅力と求心力を高める運動に邁進していくことを確認した。

冒頭、幹事会を代表して挨拶に立った萩山市長 (J R 連合副会長・J R 西労組中央執行委員長) は、「1992年7月に14単組でスタートしたJ R 西日本連合は、25年経過した現在51単組にまで拡大した。この間の歴史を振り返ると



結成25年の節目となったJR西日本連合第26回定期大会

JR西日本連合第26回定期大会 組織の魅力と求心力を高める 結成25年で加盟単組が14単組から51単組に

J R 西日本グループ労働組合連合会 (J R 西日本連合) は、7月28日、大阪市内で結成25年の節目となる第26回定期大会を開催し、加盟全単組が一丸となつて組織の魅力と求心力を高める運動に邁進していくことを確認した。

大会には、J R 連合から挨拶に立った萩山市長、河村滋喜事務局長、北村次次グループ労組担当部長、交運共済西日本事業本部や明治安田生命などの友誼団体から来賓が出席、激励と連帯の挨拶を行った。

議事では、「安全の確立」「組織強化・拡大」「2018春季生活闘争」「安定雇用の確保と労働条件向上」「経営へのチェック・提言

に際して、数ヶ月にわたり泊まりがけで研修が行われた現状について、育児等に関する問題点が議論された。参加者からは、ステップアップとして連転士を目指す女性性が、そのような研修が伴うことを考慮して、結婚等を躊躇する者がある実情が

あるという意見があった。連合からは、他業種の動向として、育児に限らずさまざまな理由を背景として、日帰り研修などが一般的になつていく現状からも、女性活躍社会という環境変化に乗務員養成制度が追い付いていないと指摘を受けた。

一方、男性の働き方についても、連合から男性の育児休業の実態なども説明を受け、制度改善の必要性などが述べられた。

各参加者からは、直面する課題であり、身近な内容を扱ったことから好意的な感想が多数あり、また、

連合からも、鉄道産業特有の問題など新しい発見もあつたとの言葉もいたった。

なお、本単組女性代表者会議は青年女性委員会の活動としては今回で最後となり、今後は男女平等参画推進委員会の活動として一本化していく。



第1回組織戦略会議 (8月21日)



第1回教育・広報担当者会議 (8月22日)



第1回男女平等参画推進委員会 (8月24日)

8月21日には第1回組織戦略会議、翌22日には第1回教育・広報担当者会議、24日には第1回男女平等参画推進委員会を開催し、新年度の活動が本格的にスタートした。

特集

民主化闘争 21

JR総連・北鉄労の「積極攻撃型組織防衛論」に基づく異常な行動

JR北海道の最大労組であるJR総連傘下のJR北海道労組(北鉄労)は、「機関紙ひびき(7月7日付481号)」によると、6月11〜12日で開催した定期大会における大会議案で「統制委員会」を満場一致で可決し、K組合員を名指しで「除名処分」を行った。一般的には「除名処分」とは統制処分では一番重いものであり、組合員としての再加入を完全に断つてしまふ処分である。今回のK組合員の「除名処分」は組織内部への見せしめ的な徹底的追及であり、組織の引き締めを図る狙いがあるものと考えられる。

除名処分の経緯としては、



「奪われたハンドル」三鷹電車区におけるJR東労組の積極攻撃型組織防衛論による行動

2016年、札幌地方本部ならびに札幌支部より、札幌運輸分会に所属するK組合員に対する制裁が中央執行委員会へ申請され、中央執行委員会は規約に基づき「機関紙ひびき」5月24日付(480号)との記載がある。また、笹森書記長は、定期大会の総括答弁の中で、統制委員会の答申が全会一致で確認されたことについて、「未然に組織の中に潜む組織破壊分子を発見し、それらを許さないたたかひをこの一年間追及してきました」と、組織をあげて、見せしめとも言うべきような「除名処分」を行ったことの正当性を語った。

北鉄労がとった異常な行動は、まさに革マル派の異なる組織論「積極攻撃型組織防衛論」に基づくものと同じである。「積極攻撃型組織防衛論」とは、組織強化のために、内部に敵をつくり、これを攻撃することによって組織を固めるというものであり、組織に敵対する者を「組織破壊者」と規定し、徹底して攻撃すること、団結を強化しようとする組織方針である。人間の尊厳を否定しようが、安全を破壊しようが、組織

防衛のためにすべてを正当化するという革マル派の常套手段である。JR東労組による浦和電車区事件や三鷹電車区事件も、組織内部に浸透する革マル派の「積極攻撃型組織防衛論」が顕著に現れたものであった。JR東労組の故松崎明氏は、自らの論文の中で、「積極攻撃型組織防衛論」というのは世界にまったくなく、我々が創った。マル生にだって我々だけが勝った。

積極攻撃型組織防衛論というのは、これまでの世界の労働運動の敗北の歴史のなかから、勝利の展望を切り拓く唯一の理論である」と述べている。

公安調査庁発行の「内外情勢回顧と展望(2014年1月)」における「革マル派は、組織建設を優先する」との方針の下、JR東労組やJR北海道労組(北鉄労)などが加盟するJR総連を始めとした基

幹産業労組の組合員取り込みに力を注いだ」との見解どおり、北鉄労には革マル派が相当浸透しているものと考えられる。「積極攻撃型組織防衛論」を掲げ、「平和共存否定」運動を行う革マル派をJR北海道から一掃しない限り会社の将来はなく、JR北海道が抱える経営課題も解決できない。一刻も早くJR北海道の民主化を行っていく必要がある。

連合2017平和行動 広島・長崎から世界の恒久平和の実現に向けて想いをひとつに

JR連合は、連合が主催する広島・長崎の平和行動のそれぞれに参加してきた。平和運動として、核兵器廃絶による世界の恒久平和の実現と、被爆者支援の強化をはじめ、在日米軍基地の整理・縮小、日米地位協定の抜本的見直しにむけた運動、北方領土の早期返還と日平和条約の締結をめざす運動などに取り組んできた。例年6月〜9月を平和行動月間として、6月に沖縄、8月に広島と長崎、9月には根室での平和行動を行っている。

(沖縄については、551号に掲載済み)

広島平和記念公園内の慰霊碑やモニュメントについて説明を受けた。集会では、被爆体験証言として、広島県原爆被害者団体協議会の廣中さんから手書きの画とともに当時の思いを語られた後、高校生平和大使からの活動報告を受けた。

翌6日には、「広島市原爆死者慰霊式・平和祈念式典」にも参加し、原爆が投下された8時15分には平和の鐘が鳴り響く中、参加者全員で世界平和の祈りを込めて黙祷を行った。その後、参加者全員で「広島平和記念資料館」および「袋町小学校平和資料館」と「本川小学校平和資料館」を見学し、三度この悲



ヒロシマ平和行動に参加したJR西労組・貨物鉄産労の仲間

8月5日、JR連合・JR西労組・貨物鉄産労、さらにJR西労組の青年女性委員会のメンバーら総勢41人で「連合2017平和ヒロシマ集会」に参加した。

集会の前段、連合主催のピースウォークに参加し、

家族の幸せを災害から守る
火災共済 オプション保障
火災共済の保障力を、さらにアップさせる新制度。

近隣の家へ損害を与えたときの「類焼損害保障」、日常生活での賠償事故に備える「個人賠償保障」、賃貸住宅で火事を起こした場合の「借家人賠償保障+修理費用」。火災共済とセット加入することで大型保障を実現します。

オプション保障(類焼損害費用保険、個人賠償責任保険、借家人賠償責任保険+修理費用)は、共済火災海上保険㈱を引受保険会社とする保険契約であり、共済ではありません。詳しい内容は必ずパンフレットおよび重要事項説明書をご確認ください。

みんなで暮らしをガード
火災共済 (JR職域生協)
全国交通運輸業労働者共済生活協同組合

ヒロシマ集会



ヒロシマ集会に参加したJR西労組・JR九州労組の仲間

組合役員の皆さんのご協力をお願いします

交通共済 30周年
「増件・増口キャンペーン」実施中!

「加盟組合各級機関役員みなさま」の全員契約に向けて、積極的に取り組みます!

●未契約の役員員の全員契約運動に取り組みます!
●組合員一人一人の契約について、増件・増口運動に取り組みます!

皆さんと歩んだ30周年 これからも交通共済と共に

条件の改善等に取り組みたいと考えています。引き続き、皆様の一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

グループ ケイ・エス・ケイ労働組合 (JR九州連合)

ケイ・エス・ケイ労働組合は2008年に、「社員全員が「ゆとり」「豊かさ」そして真の「幸せ」を共有できる企業を構築していく」という趣意の元に結成され、結成10年目を迎えました。

JR九州のグループ会社である当社の主な業務は、JR九州をはじめ、福岡市営地下鉄、北九州モノレール等の鉄道車両や各種機械設備の保守、設計、改造など、交通機関全般にわたる業務を引き受けています。

これらの技術力を活かし、JR九州が誇る「D&S列車」の車両製作や改造工事を積極的に行うとともに、駅ビル空調工事にも取り組んでいます。最近では、車輪旋盤や転削盤に代表されるような、大型修繕機械の業務を繰り返してはならないという思いを改めて強く固め合った。

ナガサキ集会

8月8日、全国の連合に集う仲間約3千人が参加して「2017平和ナガサキ集会」が開催され、JR連合・JR西労組・JR九州労組から35人が出席した。

集会では、「被爆者の訴え」として、丸田和男さん(長崎平和推進協会・継承部会)より、被爆時の悲惨な状況について講演をいただいた。また、高校生平和大使を含めた「若者からのメッセージ」の紹介に続き、連合北海道へのピースフラッ

ケイ・エス・ケイ労働組合 第9回定期大会

ケイ・エス・ケイ労働組合

ケイ・エス・ケイ労働組合第9回定期大会